

---

2022年3月期 第3四半期(累計)

# 決算説明資料

2022年2月8日



ユナイテッド株式会社  
(東証マザーズ：2497)

# アジェンダ

- 1 2022年3月期 第3四半期(累計) 決算概要 ..... P1
- 2 2022年3月期 第3四半期 各事業の概況 ..... P7
- 3 Appendix ..... P17

本資料に記載されたすべての意見や予測、見通しなどは資料作成時点における入手可能な情報に基づいた弊社の判断であり、様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることを、ご承知おきください。なお、本資料に記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

# 事業セグメントおよび構成事業

## 成長期待事業

今後の成長を牽引する事業として、積極的に投資を実施

### DXプラットフォーム事業

**KIRAMEX**  
キラメックス株式会社

オンラインプログラミングスクール「テックアカデミー」を運営

**Brewus**  
株式会社ブリューアス

アプリ・システム開発事業を運営

**UNITED DX**  
DXソリューション本部

企業のデジタルトランスフォーメーション(DX)<sup>※</sup>を支援するコンサルティングサービスを提供

**LIBASE**  
株式会社リベイス

デザイナー特化型クラウドソーシングサービス「J00i」を運営

### インベストメント事業

**VENTURE UNITED**  
ベンチャーユナイテッド株式会社

シード～アーリーからミドル～レイターまで、成長が見込まれる幅広いスタートアップ企業に投資

## 収益期待事業

収益性を重視する運営により、安定的に利益を創出

### コンテンツ事業

**Plus U**  
プラスユー株式会社

「CocoPPa Play」「クラッシュフィーバー」等のゲームアプリを運営

**FOGG**  
フォッグ株式会社

アーティストの活動支援ができるサービス「CHEERZ」等を運営

**ISM**  
株式会社インターナショナル  
スポーツマーケティング

スポーツに関わるWebサイト制作やメディアの企画・開発

**TREiS**  
トレイス株式会社

懸賞・プレゼントサイト「ドリームメール」の企画・運営

### アドテクノロジー事業

**UNITED Marketing Technologies**  
ユナイテッドマーケティング  
テクノロジーズ株式会社

スマートフォン特化型のDSP「Bypass」、同SSP「adstir」、広告最適化アドネットワーク「HaiNa」を運営

※ 企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。（経済産業省「DX推進指標」）

# 2022年3月期 第3四半期(累計) ハイライト

## 連結業績

売上高 : 10,786百万円 (前年同期比 $\Delta$ 1%)<sup>※</sup>  
営業利益 : 5,612百万円 (前年同期比 $\Delta$ 1%)

### 成長期待事業

#### DXプラットフォーム事業

売上高 : 1,670百万円 (前年同期比  $\Delta$ 13%)  
営業利益 :  $\Delta$ 382百万円 (前年同期比  $\Delta$ 391百万円)

キラメックス(株)  
株ブリューアス  
DXソリューション本部  
株リベイス

詳細は P8

#### インベストメント事業

売上高 : 6,275百万円 (前年同期比 +7%)  
営業利益 : 5,976百万円 (前年同期比 +7%)

ベンチャーユナイテッド(株)

詳細は P11

### 収益期待事業

#### コンテンツ事業

売上高 : 2,121百万円 (前年同期比 +0%)  
営業利益 : 334百万円 (前年同期比  $\Delta$ 5%)

プラスユー(株)  
フォッグ(株)  
株インターナショナルスポーツマーケティング  
トレイス(株)

詳細は P15

#### アドテクノロジー事業

売上高 : 722百万円 (前年同期比  $\Delta$ 32%)<sup>※</sup>  
営業利益 : 376百万円 (前年同期比  $\Delta$ 22%)

ユナイテッドマーケティングテクノロジーズ(株)

詳細は P16

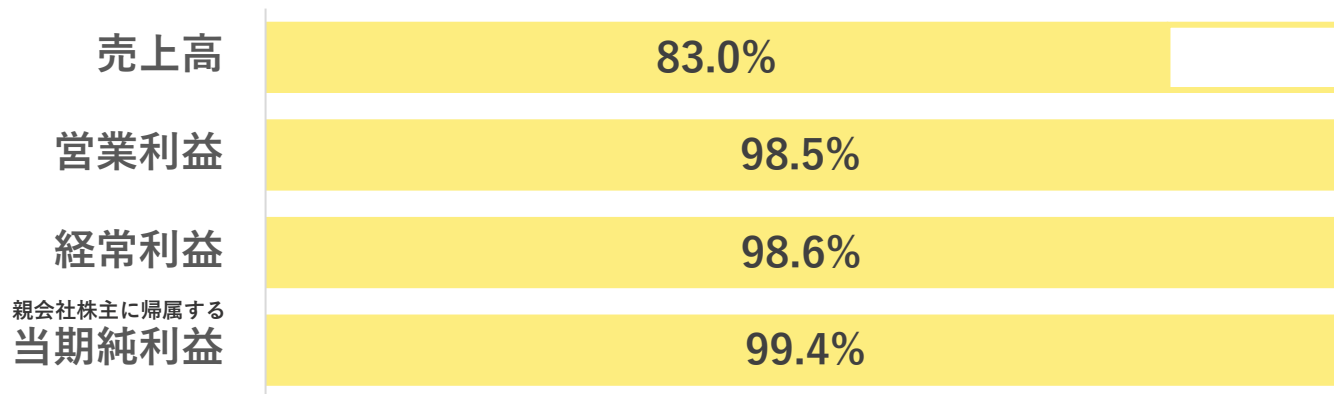
※ 2022年3月期からの新収益認識基準(企業会計基準第29号「収益認識に関する会計基準」および企業会計基準適用指針第30号「収益認識に関する会計基準の適用指針」)適用に伴い、比較の容易性を高めるため、当資料内においてはアドテクノロジー事業の過年度業績について同基準を適用し、集計・記載  
なお、当資料と同日に開示した四半期決算短信および四半期報告書においては、同基準適用前の数値を記載

## 2022年3月期 通期業績予想進捗(第3四半期累計)

営業利益以下は業績予想値に近い計画進捗率となるが、DXプラットフォーム事業への継続投資を踏まえ、業績予想は据え置き

連結業績予想	売上高	: 13,000百万円	(前期比 +3%)
	営業利益	: 5,700百万円	(前期比 +2%)
	経常利益	: 5,700百万円	(前期比 +1%)
	<small>親会社株主に帰属する</small> 当期純利益	: 3,900百万円	(前期比 +5%)
	EPS (一株当たり純利益)	: 186.00円	(前期比 +11%)

### 通期業績予想進捗率



# 連結損益計算書

販管費は、前期実施したオフィス縮小等により、前年同期比△16%

(単位：百万円)	2021年3月期 第3四半期(累計)	2022年3月期 第3四半期(累計)	前年同期比
売上高	10,941	10,786	△ 1%
売上総利益	7,984	7,526	△ 6%
販売費及び一般管理費	2,291	1,913	△ 16%
営業利益	5,693	5,612	△ 1%
営業外収益	92	12	△ 86%
営業外費用	7	6	△ 21%
経常利益	5,777	5,619	△ 3%
特別利益	18	-	△ 100%
特別損失	177	-	△ 100%
税金等調整前四半期純利益	5,619	5,619	△ 0%
四半期純利益 <sup>※</sup>	3,850	3,875	+1%

※「親会社株主に帰属する四半期純利益」を示す

## 自己株式の取得状況

資本効率および株式価値の向上を目的として、自己株式の取得を実行中  
なお、今回取得する自己株式の全株式数について、2022年3月末日に消却予定

自己株式の取得状況(2021年12月31日時点)	
取得した株式の種類	当社普通株式
取得した株式の総数	1,189,500 株 (上限2,000,000株に対して59%)
株式の取得価額の総額	2,010 百万円 (上限3,000百万円に対して67%)
取得期間	2021年5月12日～ 2021年12月31日 (2022年2月28日迄)
取得方法	東京証券取引所における市場買付 (取引一任契約に基づく市場買付)

自己株式の消却(消却予定日：2022年3月末日)	
取得予定 自己株式の消却	今回取得する自己株式の全株式数 (株式総数上限2,000,000株の自己株式を取得した場合、 2021年12月31日時点の発行済株式総数に対する割合は <b>8.9%</b> )

# アジェンダ

- 1 2022年3月期 第3四半期(累計) 決算概要 ..... P1
- 2 2022年3月期 第3四半期 各事業の概況 ..... P7
- 3 Appendix ..... P17

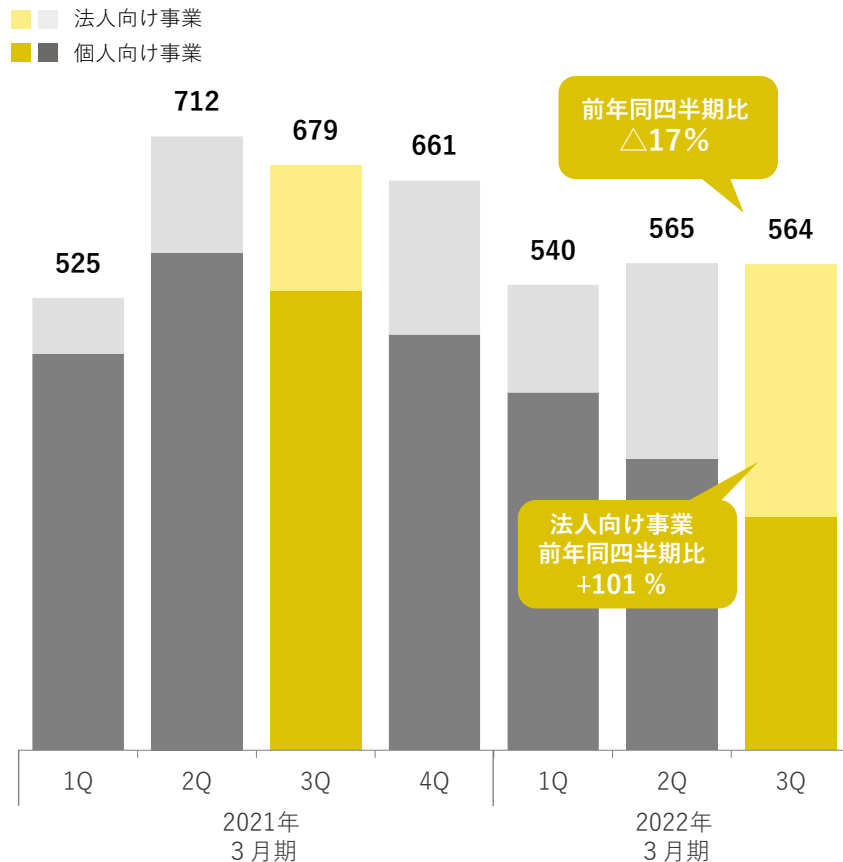
本資料に記載されたすべての意見や予測、見通しなどは資料作成時点における入手可能な情報に基づいた弊社の判断であり、様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることを、ご承知おきください。なお、本資料に記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。



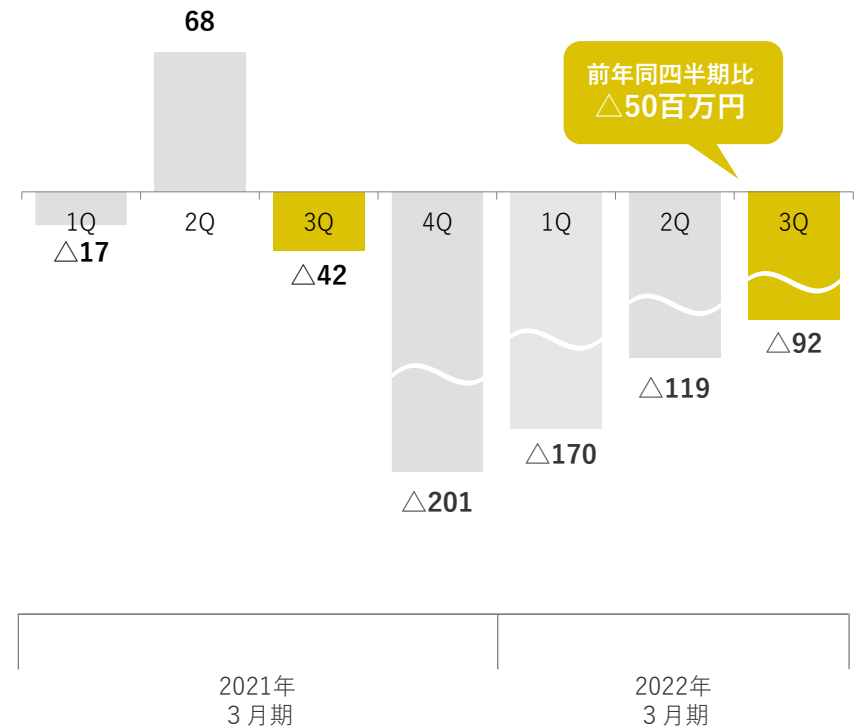
# DXプラットフォーム事業 売上高・営業利益推移

法人向け事業は、積極的な事業領域拡張により、継続的に増収  
 個人向け事業は、「テックアカデミー」において、市場成長に比して競合サービスが増加し、  
 受講者の獲得競争が激化していることにより、継続的に減収  
 第4四半期は法人向け事業の継続拡大、個人向け事業の提供価値強化により、継続した成長を見込む

## 売上高推移 (単位：百万円)

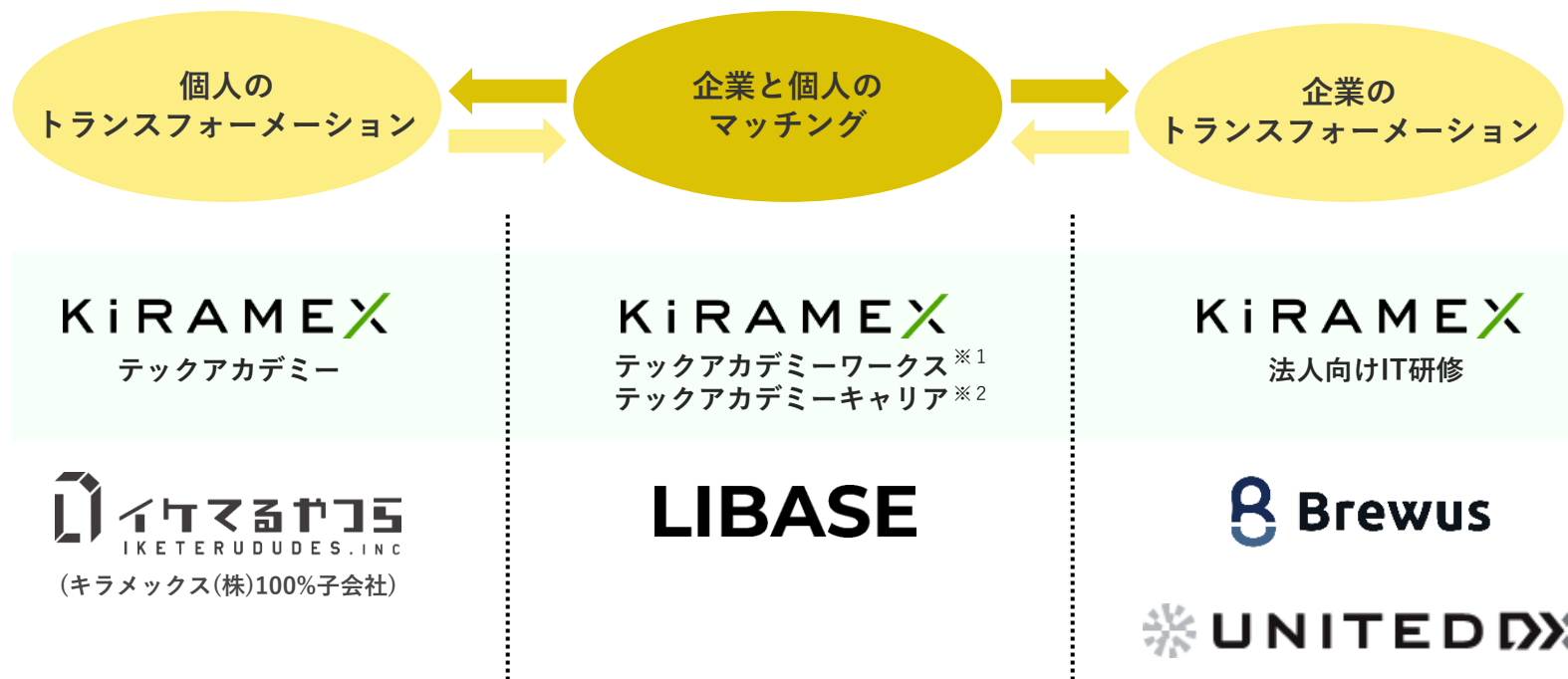


## 営業利益推移 (単位：百万円)



# DXプラットフォーム事業 全体方針

個人と企業のトランスフォーメーションを推進するとともに、双方のマッチングを行うプラットフォームとして、社会のDXを推進する  
当面は、企業と個人のマッチングの強化に注力することで、個人と企業双方のトランスフォーメーションの拡大を図り、事業全体で成長を目指す



構成事業

※1 テックアカデミー卒業生がメンターと共同で実務案件に取り組むことで、就職・独立前に実務経験を積むことができるサービス  
※2 テックアカデミー卒業生へのキャリア支援、および企業への採用支援を行うサービス

## DXプラットフォーム事業 「テックアカデミー」教育品質の強化

キラメックス(株)が運営する「テックアカデミー」と、プログラミング学習教材マーケットプレイス「Techpit(テックピット)」を運営する(株)テックピットが業務提携を実施

### 業務提携

「テックアカデミー」が保有する1,000名以上の現役エンジニアのメンターと、「テックピット」が保有する140種類以上の豊富な種類の実践的な学習コンテンツを活用することにより、受講生や企業に対してより付加価値の高いサービス提供を行う



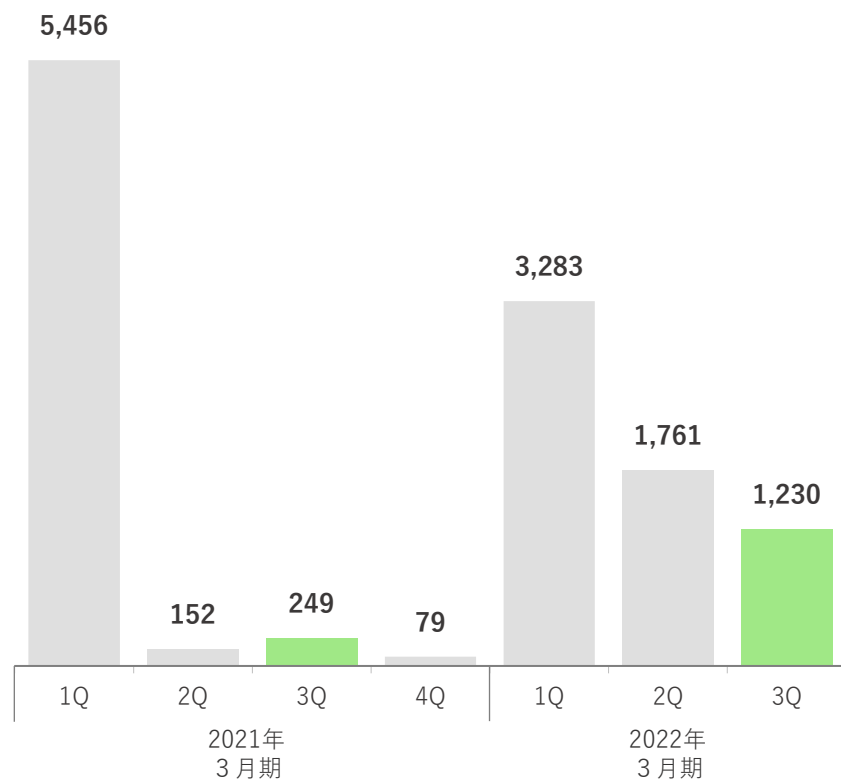
代表者 : 代表取締役 山田 晃平  
事業内容 : プログラミング学習教材のマーケットプレイス「Techpit(テックピット)」運営。140種類以上の学習コンテンツを個人や企業向けに提供。



# インベストメント事業 売上高推移・営業投資有価証券残高

通期計画通りに有価証券売却を実行、およびLP出資先の運用益を計上

## 売上高推移 (単位：百万円)







## 営業投資有価証券残高内訳

	投資先	2021年12月末 貸借対照表計上額
上場株式	メルカリ ワンダープラネット サイバー・バズ ソーシャルワイヤー等	約 <b>257億円</b> <sup>*</sup>
未上場株式	55社以上	約 <b>29億円</b>
LP出資先	31本	約 <b>15億円</b>

※うち(株)メルカリ株式の営業投資有価証券残高は25,022百万円(株式保有割合は2.7%、2021年12月31日時点)  
上場株式は時価評価、未上場株式は投資簿価で評価
























# インベストメント事業 新規スタートアップ投資

第3四半期において、スタートアップ4社に新規投資実行

投資先名	事業概要
C2C PTE. LTD. 	CtoCビジネスを中心にサービス提供者と利用者のマッチングを支援するシステムの提供
株式会社ventus 	電子トレカ®を用いてスポーツ/エンタメ領域のファンビジネスを支援
HOMMA Group株式会社 	独自の建築デザインと自社開発のスマートホーム技術を融合させた住宅の提供
株式会社バイオフィリア 	フレッシュペットフード「ココグルメ」の開発および販売

# インベストメント事業 主なスタートアップ投資先

今後も成長を見込めるスタートアップへ広く投資を行うことで、継続的なキャピタルゲインを見込む

ポストIPO	ミドル～レイター		シード～アーリー			
mercari			Mrk & Co			
	GRACIA		● Lisa Technologies Inc.			GATARI Inc.
		inglewood		KiHeiTai Inc.	& LANDART	subslife
	FIREBUG Entertainment Startup			LIFE Lab	Journey	ventus 
		SOELU				
	 Studyplus					
						

# インベストメント事業 主なLP出資先

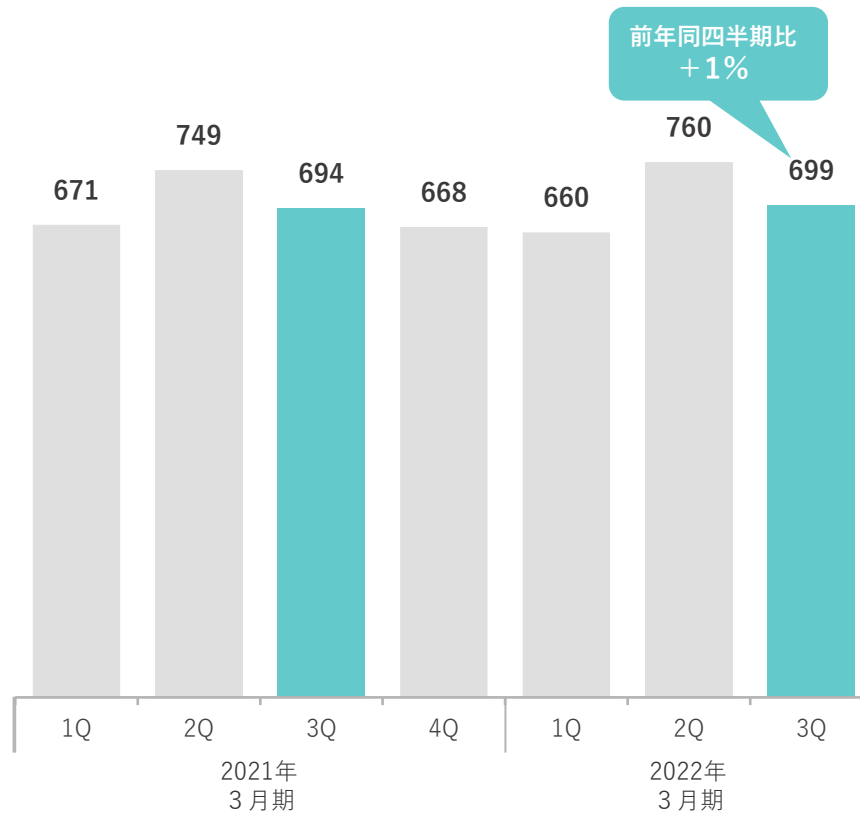
多数の外部ファンドへLP出資を行うことで、運用益の計上を見込むとともに、新規投資案件のソーシング先としても活用(1,000社以上のスタートアップへリーチ可能)



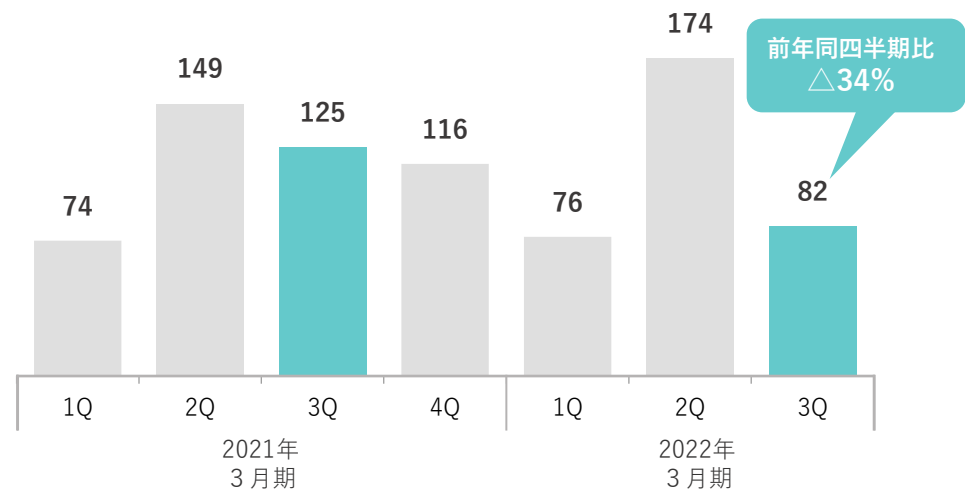
# コンテンツ事業 売上高・営業利益推移

売上高前年同四半期比+1%、営業利益前年同四半期比△34%となったが、例年同様の推移であり、通期では計画どおりの着地を見込む

## 売上高推移 (単位：百万円)



## 営業利益推移 (単位：百万円)



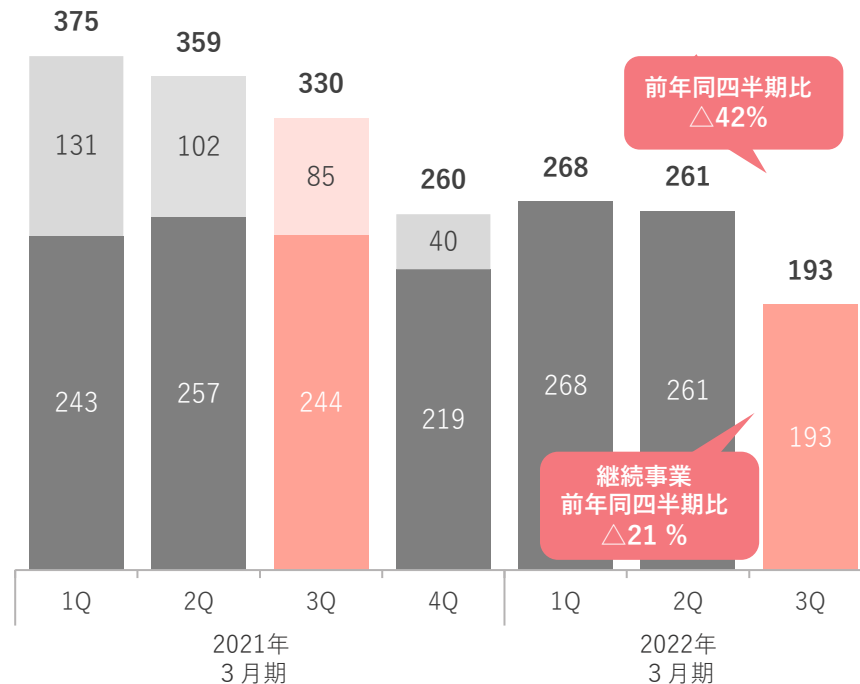


# アドテクノロジー事業 売上高・営業利益推移

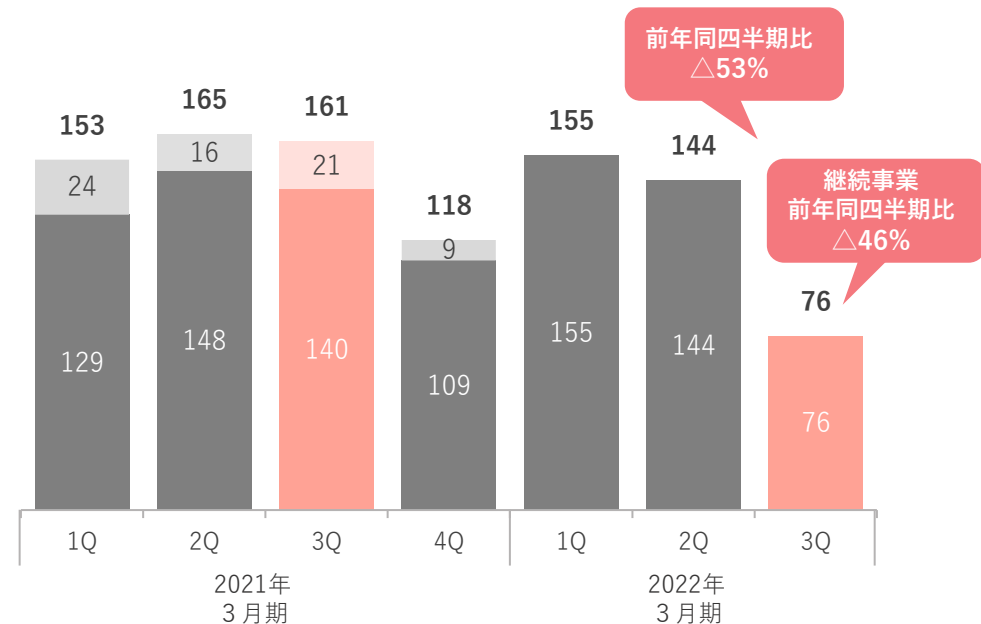
継続事業であるウェブ広告領域は、巣ごもり消費の反動による主要広告主の一時的な広告費減少により、前年同四半期比で減収減益  
第4四半期以降は回復し、通期では計画通りの着地を見込む

## 売上高推移 (単位：百万円)

- アプリ広告領域 (非継続事業)
- ウェブ広告領域 (継続事業)



## 営業利益推移 (単位：百万円)



# アジェンダ

- 1 2022年3月期 第3四半期(累計) 決算概要 ..... P1
- 2 2022年3月期 第3四半期 各事業の概況 ..... P7
- 3 Appendix ..... P17

本資料に記載されたすべての意見や予測、見通しなどは資料作成時点における入手可能な情報に基づいた弊社の判断であり、様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることを、ご承知おきください。なお、本資料に記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

# 連結損益計算書

(単位：百万円)	2021年3月期 第3四半期 (前年同四半期)	2022年3月期 第2四半期 (前四半期)	2022年3月期 第3四半期	増減	
				前年同四半期比	前四半期比
売上高	1,943	3,347	2,686	+38%	△ 20%
DXプラットフォーム事業	679	565	564	△ 17%	△ 0%
インベストメント事業	249	1,761	1,230	+393%	△ 30%
コンテンツ事業	694	760	699	+1%	△ 8%
アドテクノロジー事業	330	261	193	△ 42%	△ 26%
その他	△ 10	△ 1	△ 1	-	-
売上総利益	931	2,213	1,661	+78%	△ 25%
DXプラットフォーム事業	156	93	83	△ 46%	△ 11%
インベストメント事業	208	1,602	1,220	+485%	△ 24%
コンテンツ事業	320	324	231	△ 28%	△ 29%
アドテクノロジー事業	246	193	126	△ 49%	△ 35%
その他	△ 0	△ 0	△ 0	-	-
販売費及び一般管理費	703	657	608	△ 14%	△ 8%
営業利益	227	1,556	1,053	+363%	△ 32%
DXプラットフォーム事業	△ 42	△ 119	△ 92	-	-
インベストメント事業	190	1,577	1,196	+529%	△ 24%
コンテンツ事業	125	174	82	△ 34%	△ 53%
アドテクノロジー事業	161	144	76	△ 53%	△ 47%
その他	△ 208	△ 220	△ 209	-	-
経常利益	217	1,544	1,066	+390%	△ 31%
四半期純利益 <sup>※</sup>	127	1,086	728	+472%	△ 33%

※「親会社株主に帰属する四半期純利益」を示す

## 連結貸借対照表

(単位：百万円)	前期末 (2021年3月末)	当四半期末 (2021年12月末)	前期末差額
流動資産	46,115	44,958	△ 1,156
現預金	13,774	12,962	△ 811 <sup>※</sup>
営業投資有価証券	30,953	30,012	△ 941
固定資産	1,240	2,009	+768
のれん	-	346	+346
資産合計	47,356	46,968	△ 387
流動負債	3,114	2,635	△ 479
固定負債	8,206	7,846	△ 359 <sup>※</sup>
繰延税金負債	8,098	7,756	△ 342
負債合計	11,321	10,482	△ 838
純資産	36,034	36,486	+451 <sup>※</sup>
その他有価証券評価差額金	18,571	17,621	△ 950

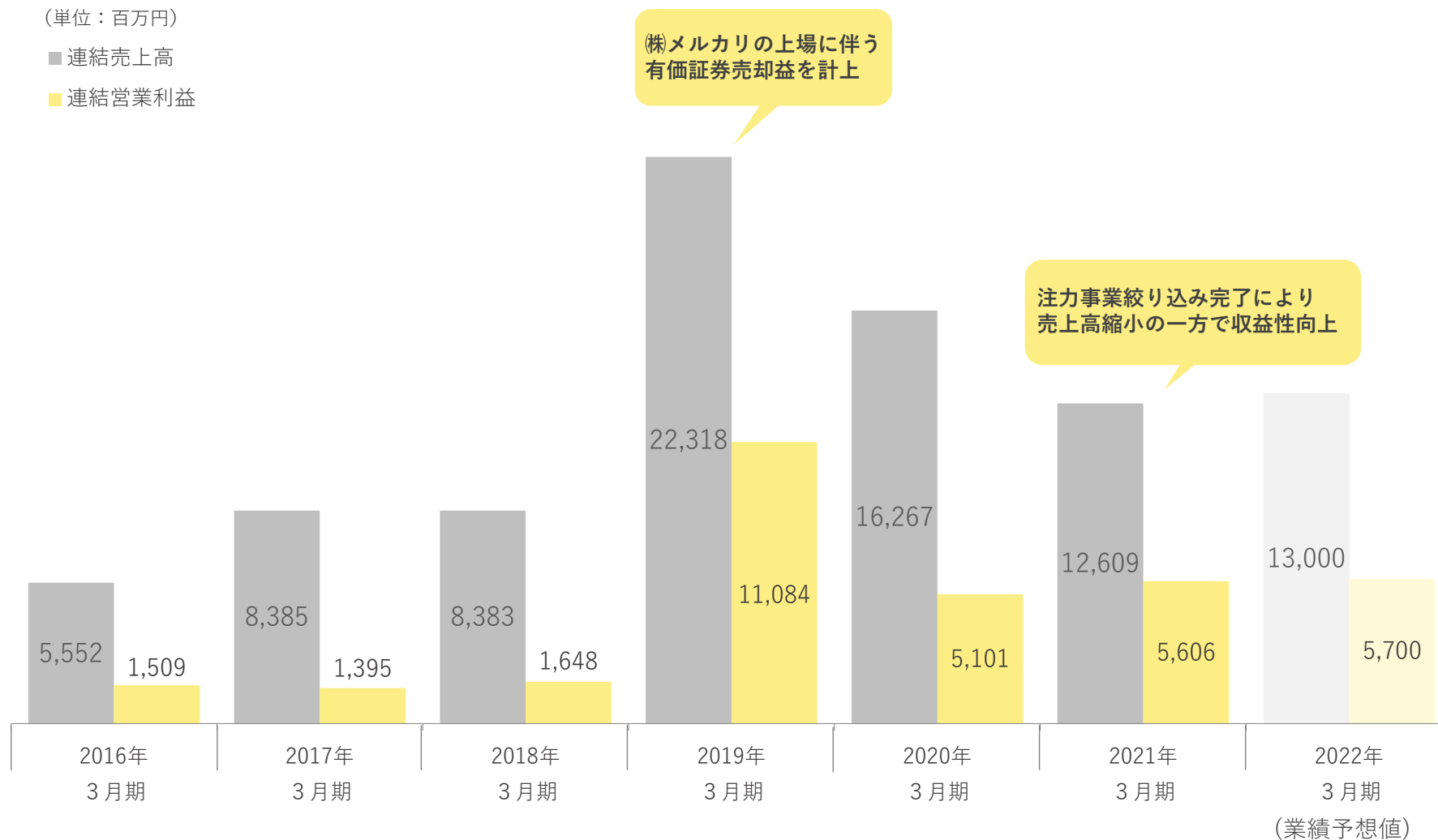
※うち上場株式の営業投資有価証券の時価評価及び売却による影響は以下のとおり  
 営業投資有価証券△1,562百万円、繰延税金負債△458百万円、その他有価証券評価差額金△1,038百万円

# 過年度通期連結売上高・営業利益推移

(単位：百万円)

■ 連結売上高

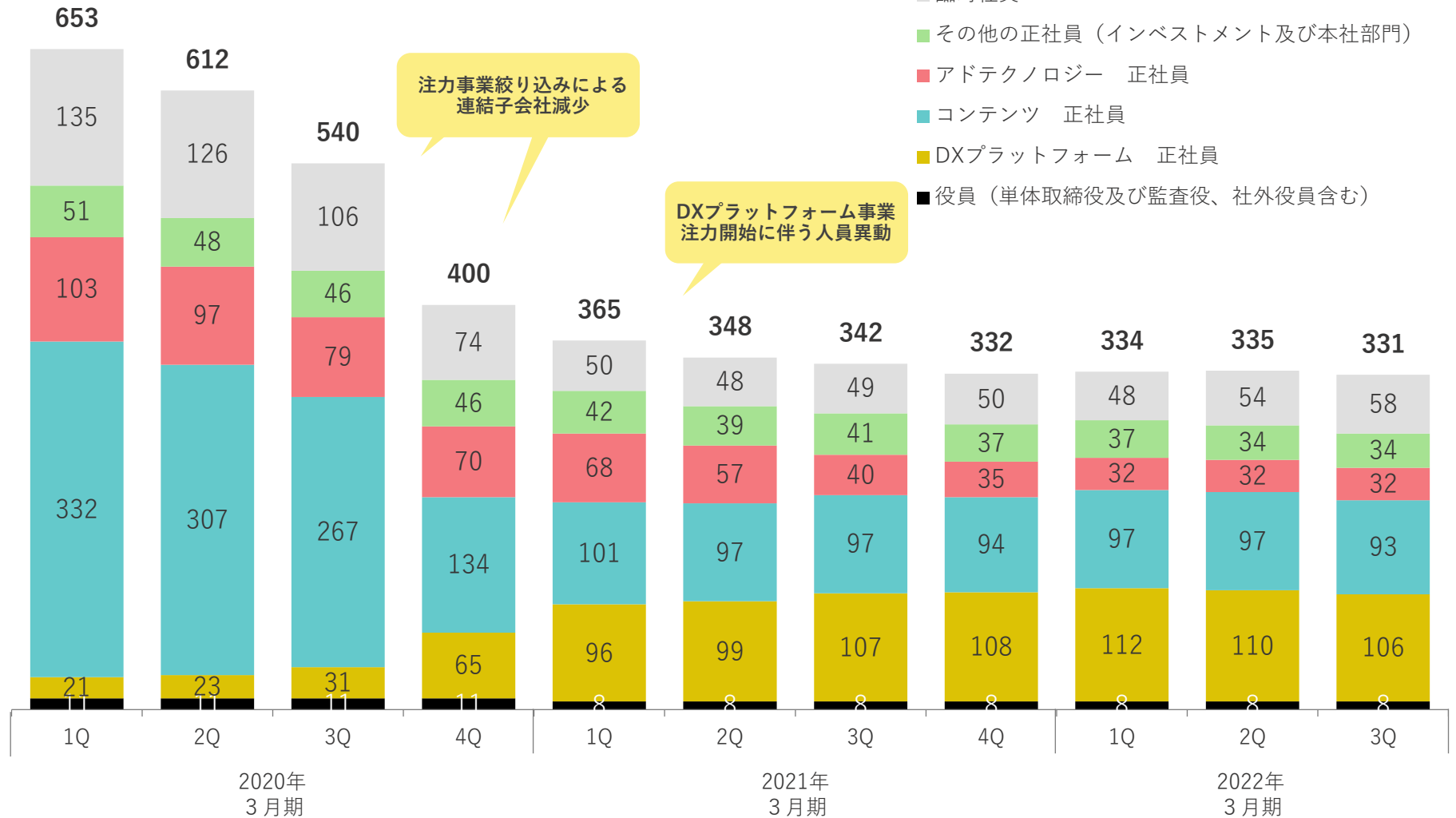
■ 連結営業利益



# 人員推移表

(単位：人)

- 臨時社員
- その他の正社員（インベストメント及び本社部門）
- アドテクノロジー 正社員
- コンテンツ 正社員
- DXプラットフォーム 正社員
- 役員（単体取締役及び監査役、社外役員含む）





**UNITED**